

まなびい あいち



TAKE FREE

ご自由にお持ちください

愛知県生涯学習推進センター情報誌

【年2回発行】

No. 80

2024. 4 - 5



「学びネットあいち」

生涯学習マスコット“マナビイ”

愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、バックナンバーもご覧いただけます。

学びネットあいち



特集

地域課題解決支援事業

～地域住民の力で住みやすい町を創ろう～



【知多市】▶
中部公民館

◀【新城市】
西部公民館



【東浦町】▶
東浦町文化センター

◀【西尾市】
きら市民交流センター



地域づくり
「高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会」



地域づくり「三ヶ根通信ボランティア」



情報提供機関紹介「招き猫ミュージアム」

目次

- **特集**..... 1
地域課題解決支援事業
～地域住民の力で住みやすい町を創ろう～
- **地域づくり**..... 3
高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会（江南市）
三ヶ根通信ボランティア（西尾市）
- **あいち歴建さんぽ**..... 5
田峯小学校教室棟、田峰観音の舞台（設楽町）



- **発掘！いにしへの愛知の食文化**..... 6
総集編
- **情報提供機関紹介**..... 7
招き猫ミュージアム
- **講座・イベント情報**..... 8
- **おすすめ情報**..... 裏表紙
当センターが移転しました
愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」

愛知県生涯学習推進センターでは、誰もが住みやすい地域社会を創り出すために公民館等の機能を発揮し、地域の人々の暮らしづくりを応援するとともに、市町村・公民館と共に地域課題解決型学習に取り組む『地域課題解決支援事業』をはじめています。今回の特集では、初年度となる本年度に実施された4市町(新城市・知多市・西尾市・東浦町【五十音順】)の取組みの様子や活動成果を報告します。

当推進センターがすすめる『地域課題解決支援事業』とは？

◎地域課題

皆さんの地域の課題は？これって日頃から問題意識をもって生活していないとなかなか答えられません。

地球温暖化による気候変動やコロナ禍による生活様式の変化、デジタル社会の進化、少子高齢化による人口構成の変化など、目まぐるしく時代は変化し、これらの課題は私たちを取り巻く社会や地域にも密接に絡み合っつながってきます。もちろん、地域差があり一様ではありません。では、あなたの町ではどんな困りごとがあるでしょう。

さらに、今年2024年は元旦に能登半島地震が起こるなど波乱の年明けになりました。身近で発災したとき、あなたの町ではどこに弱点があるでしょう。地域課題は、困りごと・弱点に置き換えられると思います。(次ページに続く)

外国人との多文化交流や災害時の避難誘導

居場所を必要とする子どもたち

気候変動で生態系が崩れ、身近にいないはずの動物が町に出没

▲空き家問題

▲ 障害者など多様な人もともに住みやすい町づくり

他にも…

- ・高齢者の孤立
- ・ヤングケアラー
- ・若者の人口流出
- ・文化の継承 などなど…

報告！私たちの町の『地域課題解決支援事業』 ※市町村は50音順

◎新城市(新城市生涯共育課・西部公民館)

- 課題**
- ・異世代交流による地域社会づくり
 - ・子どもの居場所づくり

目標

居場所づくりへの中学校や保護者、公民館利用者の理解と協力を得るとともに、「学習サポートスタッフ」として地元の大学生を募り、中学生には「分からなかったことが理解できた喜び」を、大学生には「教えるという学び」を味わってもらおう。

成果

多くの中学生が自学自習に集中し、学習サポートを受けた。サポート週間以外でも来館し、黙々と、または教え合いながら勉強する中学生も現れた。西部公民館が「行事がなければ行かない場所」から「気兼ねなく立ち寄れる居場所」となったようである。また、他の利用者との関わりも増えたことで異世代交流の足掛かりができた。

センターのお手伝い

意見交換会、学習サポートスタッフ謝金など。

年の近い大学生に教わる体験は、中学生にとって貴重な力強いエールになったことでしょう。そして、地元の若者や関係者にとっても新城を盛り上げる気運の高まりを感じる取組みとなりました。



◎知多市(中部公民館)

- 課題**
- ・公民館、団体の活動報告の場づくり
 - ・市民と公民館の距離を縮める

目標

公民館の事業の報告の場、市民の活躍の場として「公民館だより」を発行する。また、「公民館だより」を仲介として市民との交流を図り、ニーズに合う事業展開に繋げる。

成果

機関紙づくり講座を通し、多くのコツと技を教わった。今回は公民館職員が中心になって「公民館だより」の制作を行い第1号が完成した。今後は随時、公民館利用者や地域住民にも協力してもらい、住民の地域への関心を高めたり自らの学びを紹介したりと、地元愛のこもった「公民館だより」にしていきたい。

センターのお手伝い

意見交換会、機関紙作成講座講師及び助言者派遣など。

公民館を利用するサークルの活動から次年度講座紹介まで、気づかれなかった公民館の魅力の発信は、中部公民館の活性化につながっていくでしょう。まずは、公民館職員と利用者や住民との交流が始まっているようで今後が楽しみです。



◎ともに考える仕組みづくり

「安心して暮らせる地域」は、住民が互いに学びあい、つながり、交流することで形づくられていきます。

地域の困りごとや弱点を見つけ出し解決するのもそこで暮らす人たちであることが一番望ましく、地域についての情報を地域ぐるみで共有し、多くの人を巻き込んで課題の洗い出しをすることができれば、また課題解決に向けともに歩む事ができれば、より一層の地域コミュニティの活性化につながるのではないのでしょうか。

そして、地域に根ざす公民館等がその機能を存分に発揮し、地域に暮らす一人ひとりの「幸せにむけて切り拓いていく力」を育てる講座をひらくなど、ワクワク・住みやすい地域をつくるきっかけ(仕組み)づくりが重要であると思います。

そんな想いを目的とした取り組みとして『地域課題解決支援事業』が始まりました。地域の課題や困りごとを地域の皆さんで考える、その仕組みづくりに際し公民館が何をしていくか。「ともに考え、お手伝い」をするものです。

◎実践

初年度の今回は、4つの市町および公民館等からの要請を受けて当センター職員(社会教育士)がその地域に赴きました。市町村側も私たちスタッフもこの新たな試みに手探りの状態ではありましたが、1つの目標に向け二人三脚の始まりです。

具体的には、地域の現状課題について、市町村・公民館(地元住民から吸い上げた声)と愛知県生涯学習推進センターの3者(または2者)で意見を交わし、講座の内容やテーマを設定、その後ともに考え運営してくれる地域住民の参画、さらに講座の受講者を募っていきます。こうして、いろいろな立場の人が集い、地域の課題について考え、より住みやすい町づくりに向けて公民館と地域住民を中心に講座に取り組んでいきました。

4市町の活動内容については下記に掲載いたします。

この仕組みづくりが定着することで、地域の課題を地域住民が主体となって解決に導き、より安心して暮らせる地域社会が生まれるものと願っています。(推進センター職員一同)



次はあなたの町の公民館が活躍してくれるかもしれません！

お近くで地域の課題に向き合う動きがありましたら、ぜひ取り組みに参加してみてください。

ご案内

4市町のさらに詳しい報告は、愛知県生涯学習推進センターのホームページ(右二次元コード)に掲載しています。また、東浦町のフリーペーパー「いいだら東浦」、知多市の「公民館だより」については、当推進センターの情報ラウンジにて3月25日より展示します。ぜひ見に来てください。



報告！私たちの町の『地域課題解決支援事業』

※市町村は50音順

◎西尾市(西尾市生涯学習課・きら市民交流センター)

課題

- ・多世代多様な方の交流と絆づくり
- ・地元を愛し、住みやすい町づくり

目標

地元の音楽家をはじめ、手話やダンスの団体とコラボして、多世代多様な一般市民を含めたグループを結成、互いに支えあいコーラスを完成させてきらフェスで発表する。きら市民交流センターを拠点に、共生社会を次の世代に繋いでいくモデルケースをつくる。

成果

聴覚・視覚障がい者を含めた子供から高齢者が集まり、手話やダンスを交えた「コーラス」を元気いっぱい地域のフェスティバル【合唱:しあわせになあれ】で披露した。観客参加型の仕掛けにより最後は全員での大合唱、感動的なシーンとなり共生社会への第1歩を踏み出した。

センターのお手伝い

意見交換会、講師謝金など。



耳の聞こえない方にとって音楽に価値を見出すこと自体が難しいと言われ、多世代交流より遥かに高いハードルと思われましたが、風船という小道具を使いその振動から音楽を感じ、みんなが楽しく交流でき、多くを学ぶ講座になりました。

◎東浦町(東浦町生涯学習課・東浦町文化センター)

課題

- ・青少年育成
- ・東浦町の魅力発信

目標

町の魅力発信のためのフリーペーパーを若者主体で制作し、東浦町で開催されるブラアイチ(まち歩きイベント)で配布する。また、一連の作業で若者の主体性や自主性を育て、他世代との交流・意見交換により協調性や創造力を育成する。

成果

取材に奔走する中で地元の魅力をたくさん発見し、愛にあふれ誇らしい想いをもって記事を書き、若者目線のフリーペーパー「いいだら東浦」が完成した。

高校生及び大学生の若者が企画から参加し、自ら考えることや取材先との折衝といった経験を通じて、青少年教育の目的を達成することができた。

センターのお手伝い

意見交換会、ファシリテーター派遣、印刷費など。



【編集会議】

地域社会の活性化を担う次世代パワーの取り込みに成功！若者が地元地域の魅力を知り、愛着をもつための素晴らしい取り組みになりました。今後も東浦町を支える旗頭となってくれるでしょう。

高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会 ～共生社会の実現のために～

江南市で活動する「高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会」は、市内の小中学校・高校の福祉実践教室やボランティア活動に取り組む団体です。今回、その活動が高く評価され、令和5年度愛知県ボランティア活動功労者団体表彰を受賞されました。活動拠点となっている江南市社会福祉協議会ボランティアセンターでお話を伺いました。



【「高齢者疑似体験」の装具】

◆はじめりは江南市の養成講座から◆

平成13年に社会福祉法人江南市社会福祉協議会(以下社協)が行った「高齢者疑似体験インストラクター養成講座」の講座参加者が社協から要請を受け、平成14年4月5日「高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会」(以下さくら会)が設立されました。現在は、後に行われた養成講座の参加者が中核メンバーとなり、社協の登録ボランティアとして、小・中・高等学校での高齢者疑似体験、江南市や社協が開催する「ふくし江南ふれあいまつり」や「ボランティアマルシェ」、「子ども福祉塾」に参加し、地域の福祉に心を寄せた活動を行っています。

◆主な活動「高齢者疑似体験」とは◆

さくら会の主な活動は、江南市内の小中学校・高校からの依頼を受けて行う「高齢者疑似体験」の福祉実践教室です。視野・色が制限されたように見えるゴーグル、前屈み姿勢にするための背曲げ用エプロン、肘と膝の曲げ伸ばしがしづらくなる肘と膝サポーター、筋力の低下や動作が遅くなる手首と足首の重りなどの特殊な装具を装着し、動きを妨げられる中、杖を使うことがどれだけ助かるかなど、高齢者の加齢による身体的な衰えを体験することができます。装具をフルセットで装着するのは数人がかりで行われ、動く際は介助者が必要です。介助する側にとっても、高齢者側の困難さや、どうしたら相手に負担をかけないかを感じ、考えることができます。

◆コロナ禍を経た活動内容の進化◆

令和2年度からのコロナ禍では、装具を体中につけて行う体験そのものが制限され、従来あった小中学校からの依頼も激減したが、感染対策をどの様に講じれば学校からの依頼に応えられる活動が可能かメンバーは悩みました。そこで社協と話し合いを繰り返し、これまでの全身を使う体験から、身体の一部に絞った体験に内容を変更しました。例えば手指や腕の体験を、学校の自分の席で行うことで、安心安全に取り組むことができるようになりました。

さらに、「ある日の暮らし」など具体的な想定をしたストーリー仕立ての疑似体験も加わりました。食事や買い物、散歩や書類の作成など生活の場面を想定し、「視界の不明瞭さ」「屈むことの困難さ」「手指の使いづらさ」を身近に感じてもらい、高齢者の身体と心の変化をより理解してもらうことがねらいです。

さくら会では日々勉強会を開き、どのようにしたら子どもたちへ伝わり、興味を持って理解してもらえるのか、より良い方法を探求し続けています。

◆子ども、高齢者だけではなく、すべての人の、人権を大切する活動へ◆



「誰も訪れる老いをポジティブに捉え、他人事ではなく自分事として優しい視点を持ってほしい。ひいては、周囲の人も、自分も大切にすること、人権に繋がっていきます。」と、子どもの福祉教育からはじまり、人権教育まで視野に入れた活動を考えていく代表の金澤たき江さんの言葉は熱く力強いものでした。最後に、メンバーの一人である三品さんから、福祉実践教室を受けた中学生からの感想文をご紹介します。「高齢者は想像以上に不自由を感じており、気持ちや身体を体験できたことが一番経験になった。あの状態で誰も助けてくれないと悲しい辛い。これからは温かく接し、負担がかからないよう努力していきたい。」さくら会の活動理念は、未来を担う子どもたちに確実に伝わり、根付いています。(Y.W)



【問合せ先】 高齢者疑似体験ボランティアグループさくら会
窓口:江南市社会福祉協議会ボランティアセンター(TEL:0587-55-5262)



県内各地で様々な団体のみなさんが、その活動を通じて地域づくりに貢献しています。また、活動によって生まれる出会いや交流は、ご自身の生きがいにもつながっています。このコーナーでは、地域づくり活動を行っている団体のみなさんの特色ある取組をご紹介します。



三ヶ根通信ボランティア

～ アマチュア無線などを利用した
防災活動!!～

三ヶ根通信ボランティアは、アマチュア無線クラブ(三河ラブスマイルクラブ)のメンバーの中から、防災に関心がある西尾市の幡豆地区(西幡豆町、東幡豆町、寺部町、鳥羽町)在住・在勤の方々が集まり、昭和58年3月1日に結成されました。災害発生時におけるアマチュア無線などを活用した情報伝達を主軸に、現在11名のメンバーが活動されており、災害に備えて様々な訓練を積極的に行っています。長年にわたる継続的な活動が評価され、令和5年度愛知県防災貢献団体として表彰されました。

三ヶ根通信ボランティアの代表である堀克次さんと前代表の大嶽繁高さんにお話を伺いました。

◆災害時に活躍するアマチュア無線◆

2011年の東日本大震災では、あらゆるライフラインが寸断され、多くの通信手段が途絶えた中で、アマチュア無線家たちの連絡網が情報伝達や人命救助に貢献し、アマチュア無線が有効な通信手段であることが再評価されています。また、他の多くの災害時においても活躍していることから、社会に役立つボランティア活動として大きな注目を集めています。「防災に係るボランティアとして、1月に発生した能登半島地震においては、被災地の皆様の安全と一日も早い復旧をお祈りしています。」と、堀さんが取材の冒頭で述べられ、インタビューがスタートしました。



【左 大嶽前代表 右 堀代表】

◆特小トランシーバーを活用した防災訓練について◆

昭和58年三ヶ根通信ボランティアが設立された当初、災害対策本部になる役場と避難所(各町内会の小学校など)の情報伝達の手段としてアマチュア無線の活用を検討し、防災訓練時の情報伝達を支援し始めました。

幡豆地区は、三河湾に面し、後方は三ヶ根山などの山々に挟まれた特有な地形で、この三ヶ根山などが電波を妨害し、「距離は近いが電波が届かない」といった課題があり、また、アマチュア無線には免許が必要であることから、免許不要の特小トランシーバーを使用し、中継装置を介することで、スムーズに通話ができるようになりました。

例年、メンバーが講師を務める「自主防災会トランシーバー操作講習会」では、東幡豆町各町内会自主防災会(11団体)から各2名がトランシーバー持参で集合し、トランシーバーの設定と取扱いの習得、東幡豆小学校の中継装置を利用した通信訓練を行っています。



【堀代表によるトランシーバー操作】

◆中学生の防災通信ボランティア訓練◆

幡豆地区には高校や大学がなく、大きな会社もありません。昼中に地震が発生した場合、どのように対応するか。「何かあったときに一番動いてくれるような若い力」を考え、思い浮かんだのが中学生。そこで、幡豆地区唯一の中学校である幡豆中学校に協力をお願いすることにして、防災通信ボランティアを毎年募集しています。平成18年5名の応募からスタートし、現在では30名前後の応募があります。年3回(各学期毎)行われるトランシーバーによる通信訓練では、トランシーバーの操作解説とともに、6つの班に分かれての運用訓練が行われます。

訓練は、通話表(聞き間違いをなくするためのもの。例「<イケダ>→いろはのイ、けしきのケ、たばこのタに濁点→<イケダ>」)に基づいて行います。昨年12月には、通信者の氏名、怪我人の報告、土砂崩れの場所の説明を、この通話表を使って正確に報告する訓練などを行いました。「教師でない私たちが数十人の生徒に講義などを行うことは難しいと感じていたが、活動を続けたことで中学生メンバーが増え、防災に関する関心や理解者が増えたことは、とても良かった」と、堀さん、大嶽さんは嬉しそうに話してくださいました。



【自主防災会での操作講習会】



【中学生のボランティア訓練】

◆今後の活動◆

今後も、愛知県総合防災訓練、西尾市総合防災訓練、自主防災会トランシーバー操作講習会などのイベントが控えているとのことで、特に、幡豆中学校との通信訓練は、今後の一層の深化が期待され、その訓練を通じて中学生や教師との交流を築きながら、防災への意識向上に寄与していく姿勢が強く感じられました。(H.N)

【問合せ先】
三ヶ根通信ボランティア
代表 堀克次
TEL 090-9173-3137





あいち歴史さんぽ



地域に遺る学校建築などの歴史的建造物を紹介します。

設楽町立田峯小学校普通教室棟・特別教室棟

設楽町立田峯(だみね)小学校は、明治6年(1873)第15番小学田峯学校として開校し、これまで150年の歴史を歩んできました。新東名高速道路新城ICの北約15km、設楽町南西部の田峯地区のほぼ中央に位置します。校地北側のやや高い所に平屋建ての校舎をL字型に配し、南側を運動場とし、東辺やや中央に正門を置いています。現存する普通教室棟と特別教室棟は、田峰観音境内地にあった田峯尋常小学校が大正15年(1926)に全焼し、直後の昭和2年(1927)に移転・新築された建物です。木造平屋建て、赤色の瓦型鋼板葺きの屋根で、普通教室棟は寄棟造、特別教室棟は切妻造です。

普通教室棟は、中央に玄関、左右に教室、両端に昇降口を置く左右対称の建物です。平面は北側を幅の広い廊下、南側に職員室や普通教室を並べています。特別教室棟には、普通教室棟の西昇降口から渡り廊下で接続しています。玄関先には、「學」の文字が入った鬼板を載せ、5弁の花模様を持つ懸魚(げぎょ)をさげた切妻のむくり屋根の玄関ポーチを設けています。また、建物の四隅の柱を表にし、壁は下見板張りとして、窓枠は白く塗られています。赤い屋根と白い窓枠の校舎は、昭和初期における山村の小学校の情景を今も伝えており、「心のふるさと」の大切な構成要素です。

おわりに、田峯小学校は令和6年3月末を以て閉校となり田口小学校に統合されますが、国登録文化財の2棟の校舎は、田峯小学校の名とともに今後も継承されていきます。



外観(東から)



普通教室棟廊下



昭和2年度卒業写真

田峰観音の舞台



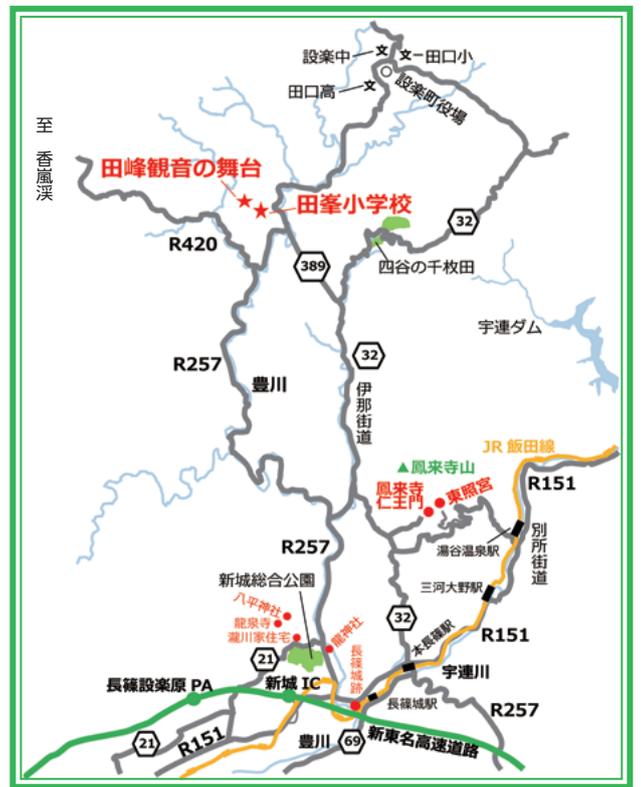
外観(南西から)



廻り舞台装置

県指定有形民俗文化財の田峰観音の舞台は、新東名高速道路新城ICの北約15kmの設楽町南西部の田峯地区に位置し、田峯小学校の北西300mほどの所にあります。愛知県は祭礼行事が盛んであり、関連して舞台も三河東部や北部に多く所在します。毎年、五穀豊穡を祈って例祭が行われ、奉納芝居を上演するための舞台が造られました。ここでは慶安3年(1650)から文久3年(1863)までの間に4回、組立式と固定式の舞台を繰り返し改築してきました。

現存する固定式舞台は、文久3年の建築で、間口6間奥行4間の長方形の平面で、茅葺き寄棟造の建物です。正面両端の柱に大きな虹梁(こうりょう)を掛け、全面開口を可能にしています。同時代の舞台との相違は、舞台の周りに袖と楽屋が設けられていることで、より舞台としての完成度が高いものとなっています。元は地下1階の奈落に楽屋を設け、直径約5.4mの廻り舞台と3つの小型のセリ「スッポン」を備えていましたが、戦後奈落を埋めて廻り舞台を休止するなど形態を変えてきました。平成10年には50年振りに廻り舞台を復活させ、「真夏に雪を降らせた」という田峰観音の霊験に始まったと伝えられる地芝居を、今日まで絶やすことなく続けています。



(参考文献)愛知県の近代和風建築、平成19年(愛知県教育委員会)



愛知県高等学校郷土史研究会

※問合せは愛知県生涯学習推進センターへ

TEL: 052-433-5101



発掘！いにしへの愛知の食文化

～発掘調査結果で分かった食文化の変遷～

愛知県埋蔵文化財センターの協力による連載です。遺跡の発掘調査結果から分かる食文化の変遷についてご紹介します。今回は、これまでの連載の総集編です。

～ 総 集 編 ～

これまで5回にわたって、時代ごとに遺跡の発掘調査からわかる食文化について解説してきましたが、最後に時代を通じた形でその変遷をまとめます。そもそも、私たちの食事は大部分が植物や動物などの有機物であるため、遺跡から食べ物そのものが発見されることは極めて珍しいですが、そのような中で、私たちは過去の食文化をどのようにして知ることができるのでしょうか。手がかりとして、食料生産の痕跡、食料を加工する道具とその際にできる廃棄物、そして食事に使う道具などがあります。

1. 食料獲得方法の発展

まず、食料を得るための道具や施設からみていきます。旧石器時代から縄文時代は、尖頭器(せんとうき)、石鏃(せきぞく)、釣り針などの石器や骨角器が使われていました。貝塚に含まれる貝殻や骨、貯蔵穴から出土する種や木の実などから、多様な食材が狩猟、漁労、採集によって賄われていたことがわかります。

約2,500年前の弥生時代になると、水田遺構が発見され、人工的な食料生産が行われ始めます。約1,300年前の古代には条里制が施行され(本格的に運用されたのは中世から)、約400年前の江戸時代には大規模な新田開発が行われたことにより、食料生産量は増加します。こうした一変化から、人々が食料の安定供給を目指してきた歴史を知ることができます。



設楽町 川向東貝津遺跡
尖頭器 後期旧石器時代
(狩猟の道具)



一宮市 門間沼遺跡
水路と水田跡 古墳時代
(稲作が行われた)

2. 食料加工技術の多様化

次に、食料加工技術の変化をみていきます。15,000年以上前の旧石器時代から火の使用は認められますが、主に焼く加工が中心だったと思われます。約11,000年前の縄文時代から地下式の炉穴で燻製(くんせい)をしたり、土器(深鉢)を用いて煮沸したりする方法が出現しました。また、石皿や叩(たた)き石などで木の実を割ったり根莖類をすりつぶしたりしていました。

弥生時代には米の伝来とともに炊飯用の土器(甕(かめ))が現れ、約1,600年前の古墳時代には蒸すための甑(こしき)が登場します。約600年前の中世には大陸から精進、懐石料理などが伝わり、粉ものを作るためのすり鉢や石臼がみられ、着実に食材加工のバリエーションが増していきます。食材の加熱方法についても、炉などの火処(ひどころ)は真下から火を当てるように徐々に工夫され、鍋の形はどんどん浅くなって内容物を温める熱効率が高まっています。このような調理方法の多様化は、人々の食生活を豊かなものにしたに違いありません。



設楽町 大栗遺跡
煙道式炉穴 縄文時代
(屋外炉で燻製が行われた)



瀬戸市 桑下城跡
挽臼(下臼) 戦国時代

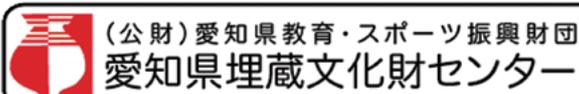
3. 食生活を彩る道具の増加

最後に、食事をいただく時に使う道具をみていきます。縄文時代から古墳時代までは食事を盛り付けた器(縄文時代の浅鉢や弥生時代の高杯など)がありますが、その数は少なく墓や祭祀場など特別な場所で出土することが多いです。一方、古墳時代になると杯蓋と杯身がセットで多数出土しており、個人専用の器へと切り替わったと思われます。そして、平安時代には碗と皿のセットが、室町時代には喫茶用の天目茶碗などが登場し、江戸時代には食卓塩の走りとなる焼塩壺まで出現しています。

現在の私たちの豊かな食生活は、こうしたさまざまな変化の積み重ねから成り立っていることを、遺跡の発掘調査から知ることができるのです。



名古屋市 名古屋城三の丸遺跡
焼塩壺 江戸時代



(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ケ須町野方802-24
TEL:0567-67-4163 FAX:0567-67-3054



HP <http://www.maibun.com> Twitter https://twitter.com/aichi_maibun

愛知まいぶん

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

日本最大の招き猫専門博物館 招き猫ミュージアム



【招き猫ミュージアム展示室】

◆招き猫のふるさと瀬戸で招き猫の魅力を伝える

招き猫ミュージアムは、「日本招猫倶楽部」の世話役をつとめる板東寛司・荒川千尋夫妻の個人コレクション数千点を展示する、日本最大の招き猫専門博物館です。2004年まで群馬県にありましたが、より多くの方々に招き猫の魅力を知ってもらいたいという夫妻の願いから、2005年3月、明治期に全国で初めて石膏型で招き猫の生産を始めた瀬戸の招き猫メーカー中外陶園によって、当館が誕生しました。

1996年から始まった「来る福招き猫まつりin瀬戸(毎年9月開催)」は、現在では国内外から数万人の招き猫ファンが訪れる催しに成長し、ファンの間では「招き猫の聖地」と呼ばれています。大正時代の洋館建築をイメージした、レトロモダンな建物に足を踏み入ると、出迎える招き猫の数に圧倒されることでしょう。館内の随所に密かに施された猫のタイルや、猫の立体作品などの装飾を探すのも楽しみの一つです。

◆日本生まれの縁起物、招き猫の過去・現在・未来を楽しむ

郷土玩具から骨董もの、日用雑貨まで、日本中から集められた招き猫を、1)歴史 2)寺社もの 3)郷土玩具 4)主要産地別 5)珍品 6)雑貨などに分類した常設展示と特別企画展示など、日本文化の一面を伝える見ごたえのある展示を施した博物館は、言わば「過去」に作られた招き猫たちの部屋です。ここでしか見られない品もあり、招き猫たちが一斉に招く福の気配に満ちた空間です。ショップやギャラリーでは、「現在」活躍中の様々なジャンルの創作招き猫作家の技巧を凝らしたキャットアートを展示販売。

絵付け体験では、あなただけの願いを叶える「未来」の招き猫づくりをお楽しみいただけます。

◆世界にひとつだけのやきものづくり

人気の絵付け体験は、昨年9月当館向かいにオープンした体験施設「STUDIO 894」に移行。招き猫をはじめ、開運や招福の季節飾りなど、瀬戸のやきものの絵付け体験を毎日開催しています。「陶器 むり絵体験」「磁器 絵付け体験」から選べます。HP:<https://studio894.jp/>



【磁器 絵付け体験(招き猫貯金箱)】

❖ 特別企画展示・個展 情報 ❖

特別企画展「左右対抗招き猫合戦」

右挙げ左挙げ、どちらが何のご利益？招き猫の「手」について、楽しく知識を身につけていただけます。

開催期間：開催中～2024年9月中旬

開催場所：2階 ミュージアム(有料)

—— キャットアーティスト個展 ——

国内外で大人気の創作招き猫作家の個展

3/30(土)～4/7(日) 村上しよみ ファブリックアーティスト

4/27(土)～5/6(月) 小澤康磨 造形作家

5/25(金)～6/2(日) 水谷 満 陶芸家

開催場所：1階ギャラリー スペース29(無料)

招き猫ミュージアム

〒489-0821 瀬戸市薬師町2

TEL：0561-21-0345

HP：<https://luckycat.ne.jp/>



招き猫ミュージアム



【ご利用案内】

開館時間：10：00～17：00

休館日：火曜日(祝日は営業)

入館料：大人300円、大学生・高校生200円
中学生以下無料



「学びネットあいち」情報提供機関の講座・イベントを紹介します！

4月・5月・6月(5月までの申込期間のもの)を掲載しています。

講座、講習会名

①開催日時

②開催場所

③問合せ先

TEL052-△△△-0000



申込有・無

④

④ 二次元コード(学びネットあいちの該当ページへリンクしています)

ご注意ください

※二次元コードは、学びネットあいちの「講座・イベント情報」ページにリンクしています。

※申込方法、休館日など [詳細・最新情報](#)については、[お問合せ先のTELまたは二次元コードよりご確認ください。](#)



登録・利用 無料



登録方法は[こちらから](#)👉



愛知県生涯学習情報システム
学びネットあいち

情報提供機関
登録募集中！

登録すると、講座・イベント情報を、「学びネットあいち」から随時発信したり、情報誌「まなびいあいち」(フリーペーパー版及びWeb版)に掲載することができるなど、さまざまなメリットがあります。その他にも下記の情報を登録することが可能です。ぜひご登録ください！

登録された情報は8項目に分かれています

学びネットあいち

興味に合わせて

検索してみてください♪

講座・イベント

講座、講習会(資格取得を含む)、シンポジウム、展覧会、イベント等をお探しの場合はこちら。

ボランティア

生涯学習活動を支援するボランティア(個人)をお探しの場合はこちら。

施設

社会教育施設、文化施設、スポーツ施設等をお探しの場合はこちら。

グループ・団体

社会教育団体、学習グループ、ボランティア団体等をお探しの場合はこちら。

学校

小・中学校、高等学校、大学、専修・各種学校等をお探しの場合はこちら。

教材

登録されたビデオ、CD-ROM、DVD-ROM、書籍等を検索する場合はこちら。

講師

講演会・講座等の講師をお探しの場合はこちら。

Web教材

講座、講習会の内容や伝統芸能などをテキストや動画にし、Web教材として公開しています。



愛知県生涯学習情報システム
学びネットあいち

学びネットあいちは、生涯学習情報システムで、動画などの学習教材

ログイン(情報提供機関向け)

はじめての方へ 文字サイズ [大きく](#) [標準](#)

全体検索

講座・イベント

施設

学校

講師

ボランティア

グループ・団体

教材

Web教材

検索

キーワードを入力してください

全体検索:例)愛知県 生涯学習

検索

詳細条件

ワンポイント！

検索欄に入力せずに検索ボタンを押すと公開されているすべての情報が表示されます。

タブごとでも
検索できます

からのお知らせ

学べるWeb教材

一覧



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

開催中

春の所蔵品展

①開催中～4/21(日)

※月曜休館日

②ヤマザキマザック美術館

③ヤマザキマザック美術館
TEL052-937-3737

申込不要



第31回特別展 球状コンクリーションの謎Ⅱ ー化石生成プロセスと応用ー

①開催中～5/11(土)

※日、月曜休館日

②名古屋大学博物館

③名古屋大学博物館
TEL052-789-5767

申込不要



企画展「奇想の輸出陶磁器 隅田焼の世界 SUMIDA WORLD」

①開催中～5/12(日)

※月曜休館日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

②横山美術館

③横山美術館
TEL052-931-0006

申込不要



帝国ホテル煉瓦製作所 ーフランク・ロイド・ ライトのデザインに挑んだ常滑の職人ー

①開催中～5/14(火)

※水曜休館日(祝日の場合は開館)

②INAXライブミュージアム

③INAXライブミュージアム
TEL0569-34-8282

申込不要



トヨタ博物館「お蔵出し展」

①開催中～6/30(日)

②トヨタ博物館

③トヨタ博物館
TEL0561-63-5151

申込不要



名古屋女子大・短大 学生作品選抜展 2024

①開催中～8/11(日)

②越原記念館(名古屋女子大学)

③越原記念館(名古屋女子大学)
TEL052-852-1111

申込不要



イオンカルチャークラブ八事【女性限定】 はじめてのアートセラピー

①開催中～12/11(水)(第2週:水曜)
10:30～12:00

②イオンカルチャークラブ 八事

③イオンカルチャークラブ 八事
TEL052-861-7501

要申込



栄中日文化センター 体のゆがみを整え る 自分ほぐし

①開催中～12/20(金)(第1、3週:金曜)
12:00～13:30

※女性限定

②栄中日文化センター

③栄中日文化センター
TEL0120-53-8164

要申込



※二次元コードは、学びネットあいちの「講座・イベント情報」ページにリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報については、問合せ先のTELまたは二次元コードよりご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

4月

収蔵品展「宮脇晴・宮脇綾子」

①3/23(土)～4/7(日)

※月曜休館日(祝日の場合は開館、翌日休館)

②知多市歴史民俗博物館

申込不要



③知多市歴史民俗博物館
TEL0562-33-1571

「不動産鑑定評価の日」無料相談会

①4/1(月)～4/24(水)

※詳細はリンク先にて

②県内13会場

申込不要



③公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会
TEL052-241-6636

〈特別展〉 福田豊四郎生誕120年・堀文子 没後5年企画 福田豊四郎と堀文子 —描く喜び、生きる喜び—

①4/5(金)～6/9(日)

※月曜休館日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

②名都美術館

申込不要



③名都美術館
TEL0561-62-8884

第1回ミニ探鳥会

①4/7(日)
10:30～11:30

②愛知県弥富野鳥園

申込不要



③愛知県弥富野鳥園
TEL0567-68-2338

美しき手仕事 —新収蔵品を中心に—

①4/9(火)～6/30(日)
9:30～17:00

※月曜休館日(祝日の場合は開館)

②豊田市民芸館

申込不要



③豊田市民芸館
TEL0565-45-4039

企画展「ヤマザキマリの世界展 —世界 で生きて、世界を描く—」

①4/13(土)～6/30(日)

※月、火曜休館日
(祝日の場合は開館、翌平日休館)

②高浜市やきものの里かわら美術館
・図書館

申込不要



③高浜市やきものの里かわら美術館
・図書館
TEL0566-52-3366

所蔵企画展 歳時記 風薫る夏

①4/13(土)～7/7(日)
※月曜(4/29、5/6は開館)、
4/30、5/7休館日

②メナード美術館

申込不要



③メナード美術館
TEL0568-75-5787

甲骨文字から分かる漢字の構造

①4/14(日)、5/12(日)、6/9(日)(全3回)
13:00～14:30

②朝日カルチャーセンター、
オンライン講座

要申込



③朝日カルチャーセンター
TEL052-249-5553

※二次元コードは、学びネットあいちの「講座・イベント情報」ページにリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報については、問合せ先のTELまたは二次元コードよりご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

イチから覚えるWord・イチから覚えるExcel

- ①Excel 4/16～7/2(毎週火曜)
Word 4/19～6/28(毎週金曜)
※詳細はリンク先にて
- ②Excel 犬山市南部公民館
Word 犬山市民交流センターフロイデ
- ③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
TEL0568-62-1888

要申込



じっくりWord&Excel

- ①火曜クラス4/16～7/2(毎週火曜)
木曜クラス4/18～6/27(毎週木曜)
※詳細はリンク先にて
- ②火曜クラス 犬山市民交流センターフロイデ
木曜クラス 犬山市南部公民館
- ③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
TEL0568-62-1888

要申込



暮らしに役立つ Word・Excel・PowerPoint

- ①4/18(木)～6/27(木)(毎週木曜)
13:00～16:00

要申込

- ②犬山市勤労青少年ホーム
- ③特定非営利活動法人
いぬやま e-コミュニティネットワーク
TEL0568-62-1888



アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座

- ①4/20(土)、21(日)

要申込

- ②アタッチメント・アカデミア
名古屋校
- ③一般社団法人日本アタッチメント
育児協会
TEL052-265-6526



端午の節句 五月人形展

- ①4/20(土)～5/12(日)

※月曜休館日(祝日の場合は開館、翌日休館)

- ②知多市歴史民俗博物館
- ③知多市歴史民俗博物館
TEL0562-33-1571

申込不要



第1回探鳥会

- ①4/21(日)
10:00～12:00

申込不要

- ②愛知県弥富野鳥園
- ③愛知県弥富野鳥園
TEL0567-68-2338



Photograph 記憶の花 藤原更 Sarah Fujiwara

- ①4/26(金)～6/30(日)

※月曜(4/29、5/6は開館)、5/7休館日

- ②ヤマザキマザック美術館
- ③ヤマザキマザック美術館
TEL052-937-3737

申込不要



高専おもちゃクリニック豊田 jouet (ものづくりの技術でおもちゃを修理)

- ①4/27(土)
10:00～12:00

申込不要

- ②豊田工業高等専門学校
- ③豊田工業高等専門学校
総務課 総務企画係
TEL0565-36-5828



※二次元コードは、学びネットあいちの「講座・イベント情報」ページにリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報については、問合せ先のTELまたは二次元コードよりご確認ください。



※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所、③問合せ先、TEL等

5月

アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座（オンライン）

①4/27(土)、4/28(日)(全2日)

②オンライン講座

③一般社団法人日本アタッチメント
育児協会
TEL052-265-6526

要申込



SL 写生大会

①5/5(日)
10:00～15:00

②蒲郡市博物館

③蒲郡市博物館
TEL0533-68-1881

申込不要



第2回ミニ探鳥会

①5/5(日)
10:30～11:30

②愛知県弥富野鳥園

③愛知県弥富野鳥園
TEL0567-68-2338

申込不要



合気道をつかった護身術講座

①5/19(日)

②露橋スポーツセンター

③合気道神武館 名古屋
メール aikido-nagoya@aikido.holy.jp

要申込



日本語の発音の変遷と古典文の成立

①5/21(火)、6/18(火)(全2回)
13:00～14:30

②朝日カルチャーセンター、
オンライン講座

③朝日カルチャーセンター
TEL052-249-5553

要申込



アタッチメント・食育インストラクター 養成講座（オンライン）

①5/25(土)、5/26(日)(全2日)

②オンライン講座

③一般社団法人日本アタッチメント
育児協会
TEL052-265-6526

要申込



6月

はじめての合気道 ※ 経験者も可

①5/25(土)～6/29(土)(毎週土曜、日曜いずれか)
9:50～11:50

※詳細はリンク先にて

②露橋スポーツセンター など

③合気道神武館 名古屋
メール aikido-nagoya@aikido.holy.jp

要申込



豊田高専ドミタウン2024（春）

①6/2(日)
10:30～15:30

②豊田市笹戸町周辺

③豊田工業高等専門学校
TEL0565-36-5828

要申込



※二次元コードは、学びネットあいちの「講座・イベント情報」ページにリンクしています。
※申込方法、休館日など詳細・最新情報については、問合せ先のTELまたは二次元コードよりご確認ください。

講座・イベント情報

「学びネットあいち」情報提供機関の
講座・イベント情報を紹介します！

※表の見方：「講座・講習会名」①開催日時、②開催場所

番外編

(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団
教育振興課の講座・イベント等を紹介します！



教育振興課
マスコットキャラクター
「ここちゃん」

第1回不登校理解講座



①6/7(金)
10:00～12:00

②愛知県教育会館 3階 教室

※本講座以外にも、不登校・発達障がい
関連講座の開催を予定しています。

要申込



日本語等の基礎学習講座 ステップアップスクール



日本語等の基礎を学びたい方、
仲間と楽しみながら学びませんか？

①6月～2月週1回(火曜または木曜)
18:00～19:50

②愛知県教育会館 3階 教室

要申込

5月初旬
募集開始
4月下旬
HP公開予定

青少年の自立支援事業 スマイルサポートプログラム2024



不登校傾向のある児童・生徒を対象に、
仲間と様々な体験活動を通して交流す
る中で自己を見つめ直し、自信を回復
するきっかけを提供します。

①9月～11月
日帰り体験活動2回、宿泊体験活動1回、
フォローアップ1回

②愛知県教育会館 ほか

要申込

7月初旬
募集開始
6月下旬
HP公開予定

教育相談ところの電話 (052-261-9671)



いじめや不登校、学校生活や友人関係、
家族関係などで悩んでいる青少年や、
子どもの教育について悩みをもつ保護
者に対して、研修を重ねた相談員が電
話による相談を行っています。

①年末年始を除く毎日
10:00～22:00

申込不要



第17回こども絵画コンクール



愛知県内の幼児(3歳以上)・小学生を対象に、
スポーツ・遊びや環境等体験したことを通して
感じたものを絵画にすることで、感性豊かな子
どもを育成するこども絵画コンクールを開催し
ます。

①作品募集:8月～9月
表彰式:1月

要応募

8月初旬
募集開始
6月初旬
HP公開予定



2023(令和5)年度
愛知県知事賞受賞作品

問合せ先

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 教育振興課
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-49-10 愛知県教育会館2階
TEL:052-242-1588 FAX:052-241-9103
HP:https://aichi-kyo-spo.com



本年度の事業を報告します



たくさんのご参加、ありがとうございました！

生涯学習あいち県民講座

6/4
6/11



どうする？気候危機

気候危機に取り組む活動実践者と共に、気候変動に対する理解を深める講座を開催しました。

10/26
11/7



読書ボランティアスキルアップ

幼児期の絵本との出会い～ひとり読みまでの、『成長に応じた読書支援』をテーマに開催しました。

12/16



ジェンダー平等

「包括的な学び」と「多様性玩具を題材に性教育の伝え方」を考える講座を開催しました。

7/19・26
一色青海遺跡



8/8・17
名古屋城三の丸遺跡



11/1・15・29
12/13
鹿乗川流域遺跡群



あいちの遺跡を学ぼう

県内で数多くの発掘調査を行う愛知県埋蔵文化財センターの職員による、それぞれの遺跡の特徴や出土品、「ならでは」のこぼれ話を座学講義と現地学習を組み合わせ開催しました。

12/17



あいち歴史まちめぐり

犬山城と城下町に遺る文化財建造物や外堀の段丘など、古の名残を古地図片手に堪能しました。

ICT活用講座

7/24
7/31



インスタグラム講座

インスタグラムを活用した効果的な広報の方法などを実践的に学ぶ講座を開催しました。

10/2



デジタルリスク講座

デジタル利用の際の様々なリスクを知り、危険を回避できる知識を学びました。

11/18・25
12/23
1/13・20



動画編集講座

情報発信のツールとして動画編集の基礎を体験的に学ぶ入門講座を開催しました。

12/1
12/8



企画立案講座

現代的なICT活用の方角性を考えた地域振興や情報発信、学習支援などを体験的に学びました。

次代を担う 支援者養成研修

8/19・9/10
講義



9月
各支援団体での
実地研修



10/15
全体交流会



次代を担う支援者養成研修

自立に際して困難を抱える子どもが増加している一方で、支援活動を行う団体にとっては支援員の確保や資質向上が課題となっています。将来、子ども・若者の支援にかかわることを目指す大学生等に対して、それら支援に関する理解を深め、将来の支援者の実践力向上を図る研修を開催しました。本事業に際しては、愛知PFS協会・全国子ども福祉センター・ひだまりの丘・陽和の4団体様にご協力をいただきました。

生涯学習地域連携講座

大学連携講座

県立大学の公開講座を推進センターをサテライト会場として開催しました。



地域課題解決支援事業

今号の特集(p1,2)にてご紹介しています。

愛知県生涯学習推進センターが移転しました！

当センターでは、学習情報の提供や講座等の開催、ボランティア支援など、生涯学習を総合的に支援する各種事業を行っています。また情報ラウンジでは、県内の講座・イベントのチラシや美術館、博物館、遊び・体験施設等のリーフレットなどを常時提供しています。

また、少人数の打合せや資料閲覧などにご利用いただけるとともに、閲覧用パソコンで学習情報の検索もできます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



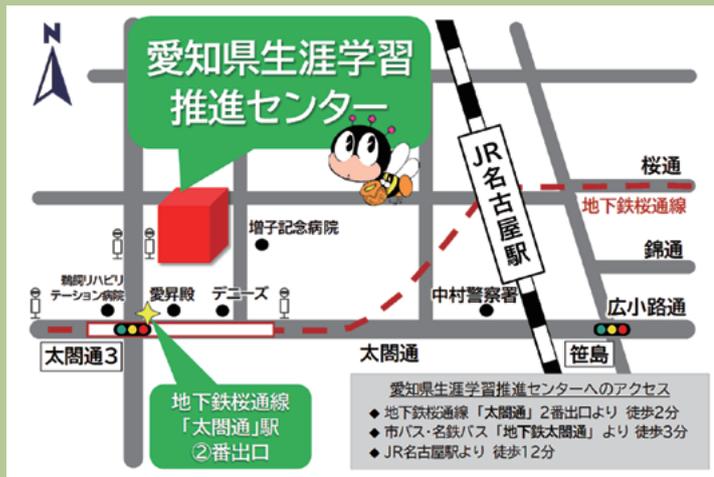
書籍等の閲覧・貸出できます



学習情報の検索もできます



県内の情報が盛りだくさん



住所 〒453-0016
名古屋市中央区竹橋町36番31号(1階)
※正面玄関入って右側奥です

TEL 052-433-5101
FAX 052-451-1371




愛知県生涯学習情報システム 学びネットあいち

生涯学習に役立つ様々な情報（講座・イベント、施設、講師、ボランティア、教材等）を発信しています。

あなたも生涯学習情報満載の学びネットあいちを活用して、様々な学びを体験してみませんか？



学習情報検索

検索をクリックすると、「学びネットあいち」に登録されている全ての学習情報を見ることができます(項目ごとに表示)。キーワードによる絞り込みもできます。

学べるWeb教材

Web上で動画等の教材を見ながら学習ができます。

今日のイベント

講座・イベント情報に登録されている情報が表示されています。カレンダーを使って、日にち別の情報を調べることができます。

情報誌「まなびいあいち」のバックナンバーや、情報提供機関の紹介など、様々な情報をご覧いただけます。

スマートフォン用サイトはこちら 

※パソコン用サイトもあります

学びネットあいち 

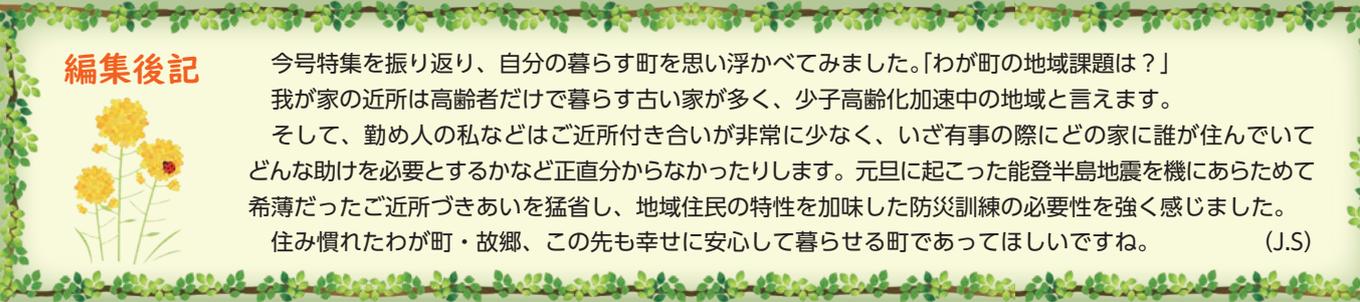
<https://www.manabi.pref.aichi.jp>

編集・発行 公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県生涯学習推進センター
住所：〒453-0016 名古屋市中央区竹橋町36番31号(1階)
TEL:052-433-5101 FAX:052-451-1371 HP:https://www.manabi.pref.aichi.jp/center/
発行：令和6年3月



編集後記

今号特集を振り返り、自分の暮らす町を思い浮かべてみました。「わが町の地域課題は？」我が家の近所は高齢者だけで暮らす古い家が多く、少子高齢化加速中の地域と言えます。そして、勤め人の私などはご近所付き合いが非常に少なく、いざ有事の際にどの家に誰が住んでいてどんな助けを必要とするかなど正直分からなかったりします。元旦に起こった能登半島地震を機にあらためて希薄だったご近所づきあいを猛省し、地域住民の特性を加味した防災訓練の必要性を強く感じました。住み慣れたわが町・故郷、この先も幸せに安心して暮らせる町であってほしいですね。(J.S)



TAKE FREE
ご自由にお持ちください